

## 「帯広市岩内自然の村」の利活用に係る民間提案型調査の実施状況について

### 1 調査の実施経過（令和3年7月29日経済文教委員会理事者報告）

- ・昭和56年開村の岩内自然の村は、青少年を中心とした市民の自然体験の場としての利用が減少し、施設の老朽化も進む中で、帯広市公共施設マネジメント計画に基づき検討した結果、行政が運営する自然体験施設としては一定の役割を果たしたと判断。
- ・施設の方向性を固めていくにあたり、民間事業者等による施設利活用の可能性について幅広く聴取することとしたもの。

### 2 調査の実施概要

#### (1) 実施時期

令和3年9月2日から11月30日

#### (2) 民間提案対象者

岩内自然の村の利活用について、事業の実施主体となる意向を有する法人若しくは法人のグループ又は個人

#### (3) 提案項目

既存施設を自然体験施設又は同施設以外として民間活用する提案や、既存建物を取り壊し、別施設として民間活用する提案等

#### (4) 提案の条件

- ・帯広市は施設の改築や改修、管理運営の経費負担を行わない。
- ・利活用にあたっては、環境保全に配慮しながら周辺環境を活かす。
- ・提案内容によって、令和5年度以降の施設（建物・土地等）の貸付等を判断。

#### (5) 周知方法

市ホームページ、観光分野など37社への郵便、地元事業者団体の会員メール、新聞記事等

### 3 提案状況

- ・市に連絡等のあった事業所等は18件あり、対話・ミーティングを6件、現地視察を5件実施。
- ・このうち、事業の実施主体となる意向を有する事業所等から4件の提案があった。このほか、一般的な利活用に係る意見が5件寄せられた。